

2025年12月22日(月) 北海道医療新聞 掲載

『院長訪問』 金山 雅弘 病院長

No.2332

院長訪問

函館中央病院

金山 雅弘院長



副院長から7月に昇任した。「地域医療を継続させるため、何より『人』を大切したい」と力を込める。北大1990年卒。脊椎脊髄病治療の道を志し、名寄市立総合病院、市立旭川病院、NTT東日本札幌病院など同大整形外科関連施設で研鑽を積んだ。94年には米国ユニオンメモリアル病院に留学し臨床研究に没頭。脊椎診療の基礎を学んだ。99年に函館中央病院に勤務し25年余り。椎センター長、診療部長など歴任し、けん引してきた同病院整形外科は現在14人の医師が在籍し道内最大規模を誇る。頸椎、胸椎、腰椎の前方・後方手術をはじめ、骨粗しょう症、小児側弯症など幅広い疾患に対応し、東京や札幌まで行かずに地元で治療を完結できる体制を整えた。今後も「地域医療と教育、研究の三本柱をさらに充実させていけたら」。

椎の前方・後方手術をはじめ、骨粗しょう症、小児側弯症など幅広い疾患に対応し、東京や札幌まで行かずに地元で治療を完結できる体制を整えた。今後も「地域医療と教育、研究の三本柱をさらに充実させていけたら」。

今年、一番大切なのは「人の力」だとの思いを強くした。「心ある医療」を原点に、先人たちの意念を引き継ぎながら、スタッフ一人ひとりが誇りを持ち、安心して働ける職場環境を」と展望。

「それがおのずと当院の提供する医療の質向上に直結し、函館の地域医療を支える力になるはず」と先を見据え、タクトを振る。

日本腰痛学会評議員、北海道整形災害外科学会理事、ORS会員、ISSLS会員。

▼住所 函館市本町

開院95周年を迎えた

33-2

今年、一番大切なのは「人の力」だとの思いを強くした。「心ある医療」を原点に、先人たちの意念を引き継ぎながら、スタッフ一人ひとりが誇りを持ち、安心して働ける職場環境を」と展望。

「それがおのずと当院の提供する医

